

掘りだそう、自然の力。

Calbee



カルビーグループ決算説明会

2012年4月1日～2012年12月31日

2013年3月期第3四半期決算報告

執行役員 財務經理本部長
菊地 耕一

	2012年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	伸び率	計画比
	百万円	百万円	%	%
売上高	44,028	47,684	+ 8.3	104.5
売上総利益	19,557	21,848	+11.7	105.7
販売管理費	14,781	16,020	+ 8.4	103.5
販売費	5,645	6,631	+17.5	102.3
物流費	3,289	3,266	△ 0.7	101.0
人件費	3,979	4,116	+ 3.4	104.0
その他	1,866	2,006	+ 7.5	111.5
営業利益	4,775	5,828	+22.0	112.3
経常利益	4,903	6,682	+36.3	129.8
特別損益	△ 5	△ 668	—	—
四半期純利益	2,553	3,601	+41.1	123.3

過去最高売上・利益を更新

売上高

ポテト系スナック、Vegips、シリアル、海外が伸長

売上総利益

コスト・リダクション効果により利益率は1.4ポイント改善

販売管理費

国内シェア拡大のため、販売費を積極投入

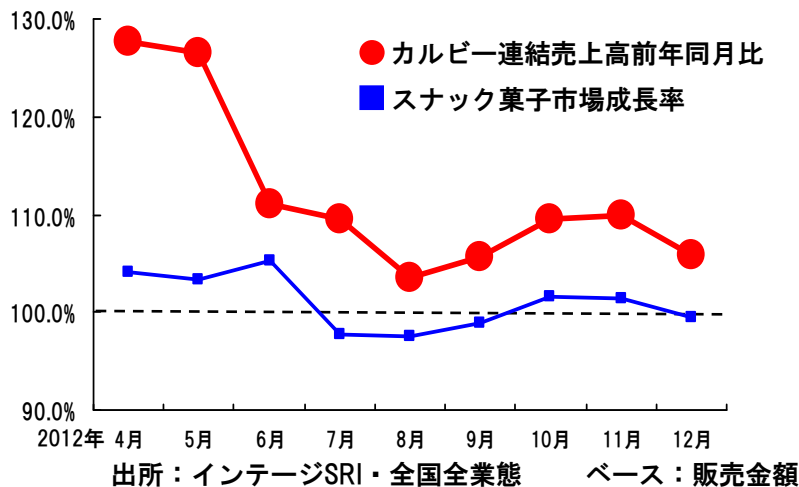
営業外収益

為替差益 853百万円

特別損失

製品回収関連費用 364百万円
業務委託契約改定損 279百万円

■ 連結売上高 前年同月比推移



■ 製品別売上高 前年同期比 百万円

売上高	増減	百万円
ポテトチップス	+	1,209
じゃがりこ	+	446
ポテト系スナック計	+	1,906
ベジップス等新規スナック	+	979
海外	+	367
シリアル食品	+	477
その他	△	75
売上高	+	3,656

■ ポテト系スナック

ポテトチップス

積極的なプロモーション活動により
定番3品が堅調

じゃがりこ

Lサイズの導入などにより
定番品が好調



■ 新製品

『Vegips』 10月から全国展開

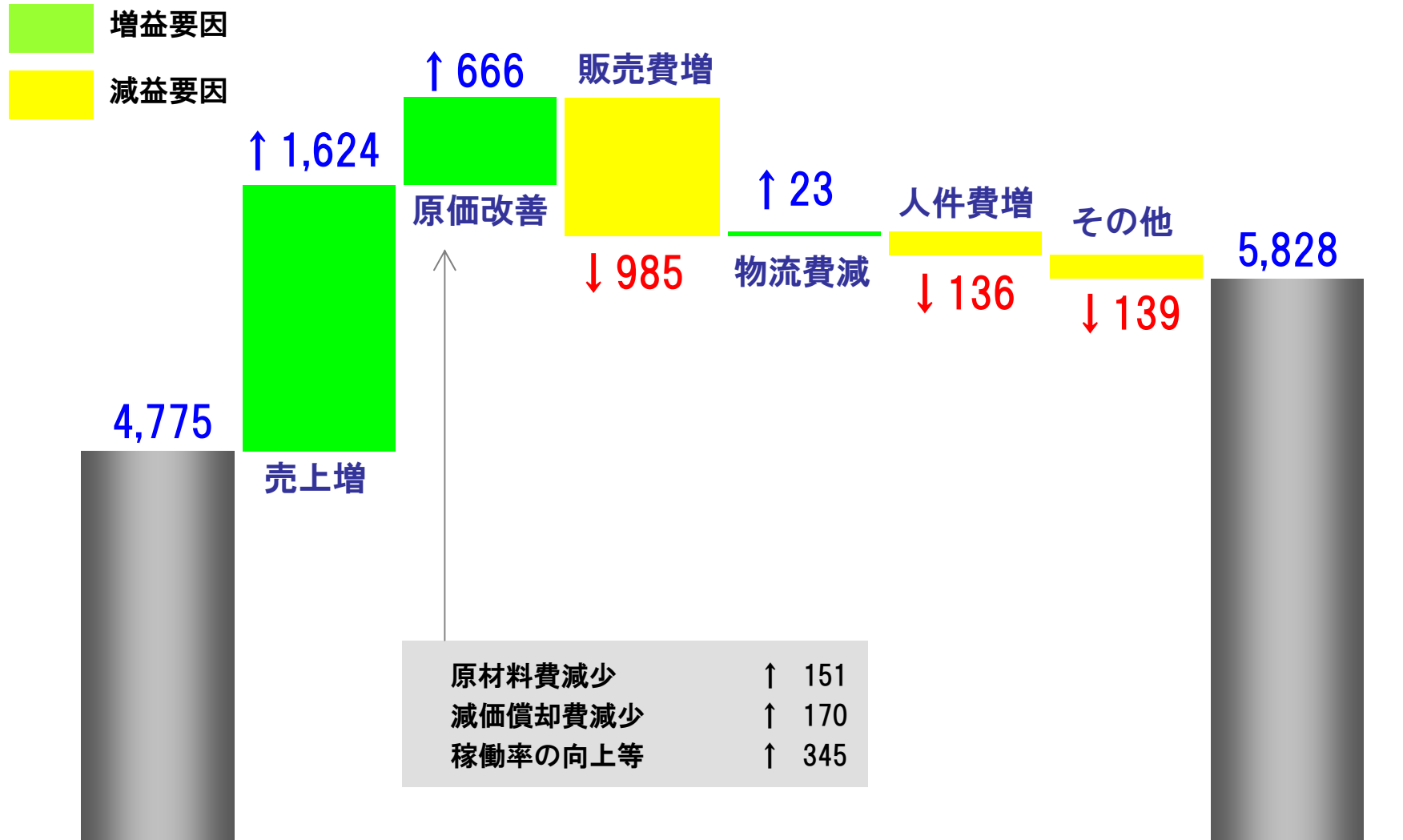
■ シリアル食品

PR活動の強化と取扱店舗数の
増加により『フルグラ』が好調



■ 海外

全ての国で増収



2012年3月期
第3四半期

2013年3月期
第3四半期

	2012年3月期 第3四半期	2013年3月期 第3四半期	伸び率	計画比
	百万円	百万円	%	%
売上高	120,013	133,759	+11.5	101.6
売上総利益	50,467	58,846	+16.6	102.1
販売管理費	41,797	46,310	+10.8	101.2
販売費	15,333	18,736	+22.2	100.8
物流費	9,085	9,186	+ 1.1	100.4
人件費	11,495	11,899	+ 3.5	101.4
その他	5,883	6,488	+10.3	103.3
営業利益	8,669	12,536	+44.6	105.4
経常利益	8,402	13,163	+56.7	113.2
特別損益	53	△ 705	—	—
四半期純利益	4,325	7,384	+70.7	110.2

2013年3月期 通期見通しの修正

	2012年3月期 実績	2013年3月期 修正計画 2012.11.1発表	伸び率
売上高	百万円 163,268	百万円 173,300	% + 6.1
営業利益	12,247	15,200	+24.1
経常利益	12,486	14,900	+19.3
当期純利益	7,096	8,500	+19.8



	2013年3月期 修正計画	伸び率
売上高	百万円 175,300	% + 7.4
営業利益	15,800	+29.0
経常利益	16,400	+31.3
当期純利益	8,700	+22.6

第4四半期に発生する見込みの特別損失
固定資産除却損等 700百万円

計画達成に向けて

執行役員 総合企画・事業開発本部長
江口 聡

成果

- 国内市場でのシェアアップを達成
 - ・ポテトチップスのシェア（前期）63.2% →（当第3四半期）**68.5%**
 - ・スナック菓子市場シェア（前期）48.9% →（当第3四半期）**53.8%**
- 売上原価率の低減
 - ・売上原価率（計画）54.7% →（実績）**54.2%**

出所：インテージSRI ベース：販売金額・全国全業態 スナック菓子市場シェアはカルビーとジャパンフリトレーの合計
ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算
前期：2011年4月～2012年3月の累計 当第3四半期：2012年10月～12月の累計

今後の取組み

- 海外戦略の実現
- 国内市場シェアのさらなる拡大
- フルグラ・新製品(Vegips等)の販売拡大
- さらなるコスト・リダクション

■ 新フレーバーの積極展開



1月7日発売



1月21日発売



1月21日発売

■ Vegips

- 東日本地区で一時販売休止
販売休止期間

玉ねぎ かぼちゃ じゃがいも
11月5日～1月13日

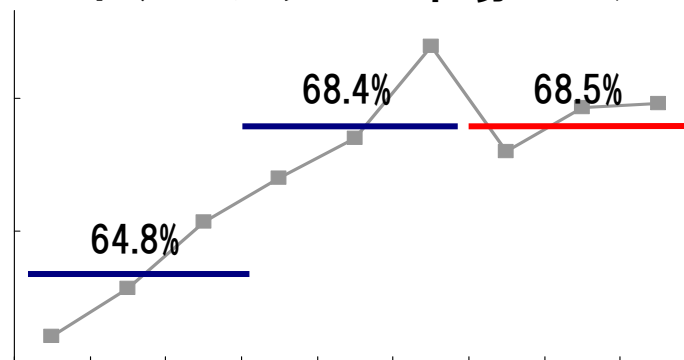
さつまいもとかぼちゃ

11月5日～11月25日



- やさいのおいしさ実感キャンペーンを
近畿・中京地区で実施(1月14日～4月15日)

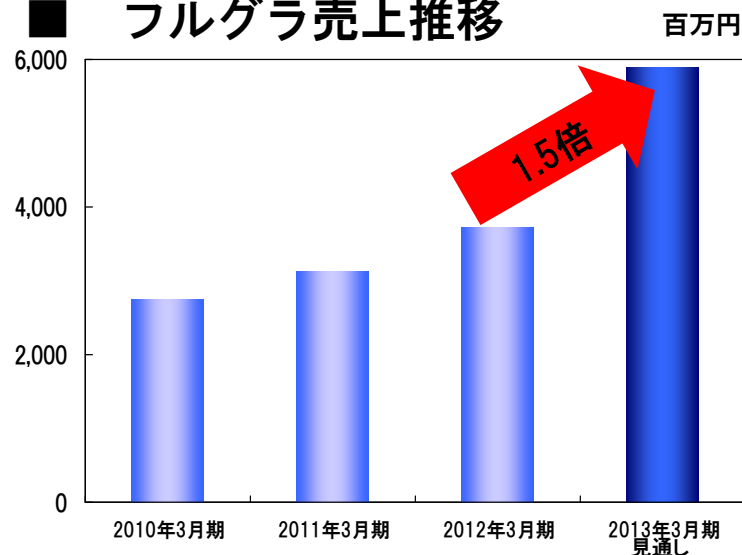
■ ポテトチップス市場シェア



2012年4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

出所：インテージSRI・ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・
ポテトシュースト・ケトル合算 全国全業態 ベース：販売金額
シェア数値は4月～6月、7月～9月、10月～12月の3ヶ月累計値

■ フルグラ売上推移



■ 国別売上高

2013年3月期第3四半期【3ヶ月】

単位:百万円

	金額	伸び率
タイ	518	+13.2%
香港	492	+17.6%
韓国	479	+38.6%
アメリカ	395	+12.8%
中国	213	+8.6%
台湾	38	—
合計	2,139	+20.8%



各国の状況

■ タイ、香港

マーケティング強化により売上拡大

■ 韓国

2012年1月発売のJagabeeが好調

■ 北米

2013年4月のJagabee販売開始に向け準備は計画通り進捗

■ 中国

2013年4月の杭州での事業開始に向けた取組みを実施、当面は杭州に集中

■ 台湾

2012年12月事業開始・Jagabee発売

参考資料

製品別売上高

百万円

	2012年3月期 第3四半期【3ヶ月】		2013年3月期 第3四半期【3ヶ月】		
	金額	構成比	金額	構成比	伸び率
ポテト系スナック	26,176	59.5%	28,082	58.9%	+7.3%
ポテトチップス	16,224	36.8%	17,433	36.6%	+7.5%
じゃがりこ	6,981	15.9%	7,427	15.6%	+6.4%
Jagabee	2,382	5.4%	2,532	5.3%	+6.3%
小麦系スナック	5,825	13.2%	5,728	12.0%	△ 1.7%
コーン系スナック	3,492	7.9%	3,614	7.6%	+3.5%
ベジップス等新規スナック	643	1.5%	1,623	3.4%	+152.3%
海外	1,771	4.0%	2,139	4.5%	+20.8%
その他	718	1.6%	909	1.9%	+26.5%
スナック計	38,627	87.7%	42,098	88.3%	+9.0%
ベーカリー	3,393	7.7%	3,151	6.6%	△ 7.1%
シリアル	1,377	3.1%	1,855	3.9%	+34.7%
その他食品計	4,771	10.8%	5,007	10.5%	+4.9%
役務提供	628	1.4%	578	1.2%	△ 8.0%
売上高合計	44,028	100.0%	47,684	100.0%	+8.3%

2013年1月30日開催 2013年3月期第3四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 第3四半期における為替差益の発生要因は？

輸入原材料の為替変動リスクをヘッジするためのドルの買い予約の評価差益と外貨建て資産(貸付金等)の評価替えに伴う差益です。どちらも円安になると差益になります。

Q2 第3四半期における海外事業の利益貢献を教えてください。

国内と同程度の営業利益率となっています。

Q3 第4四半期が減収減益になる理由は？特別損失7億円の内容は？

前期の第4四半期は売上、利益ともに非常に高い水準でした。特に3月の売上は年間でもっとも売上の多い12月に匹敵するくらいの非常に高い水準でしたので、この数字を上回るのは難しいと考えています。期間限定・地域限定の製品発売数も昨年を下回る計画であり、キャンペーンの展開時期のズレも影響すると考えています。原価率は1ポイントの改善を見込んでいますが、減収による利益の減少と販売費の増加により減益となる見通しです。

第4四半期に発生する見込みの固定資産除却損等の詳細については現時点ではお話できません。

Q4 第4四半期の主要製品の伸び率を教えてください。

ポテト系スナック	△ 7%
小麦系スナック	△ 11%
ベジップス等新規	+ 40%
海外	+ 5%
シリアル	+ 35%

Q5 足元の状況は？第4四半期に入って失速しているか？

第3四半期と比べて、数字が悪化しているという状況にはありません。1月はモメンタムを維持していますが、昨年の2、3月は強かったので、その水準にどこまで近づけるかが残り2ヶ月の課題です。

Q6 販売チャネル別の伸び率について教えてください。

コンビニエンスストア向けは微増、スーパーマーケット向けは増加、ドラッグストア向けが一番伸びています。当面、このトレンドが続くとみえています。

Q7 税率が前期から比べて低下しているが、その要因は？

前期から5~6ポイントの改善になりますが、このうちの半分は法人税率の引き下げによるものです。昨年は一時的に上昇しましたが、今期の40%という水準が通常の水準であり、来期も40%程度の税率になると考えています。

Q8 来期に営業利益率10%は達成できるか？

2015年3月期に営業利益率10%を達成したいと考えています。これまでは順調に営業利益率を改善してきましたが、来期は原材料価格の上昇や中国事業の立上げ費用などが発生すると見込まれるため、利益率を上げるのは簡単ではありません。来期は9%台の営業利益率を目指します。

Q9 中国の中長期の計画に変更はないか？

5年間という長いタームでは、変更はありません。

以上